

日本 HTLV-1 学会
2023 年度事業報告書
(2023 年 9 月 1 日～2024 年 8 月 31 日)

庶務報告

会 員	一般会員	293 名 (昨年度 282 名)
	学生会員	22 名 (昨年度 26 名)
	賛助会員	8 社 (昨年度 8 名)
	名誉会員	7 名 (昨年度 7 名)
	功労会員	18 名 (昨年度 18 名)
		(2024 年 8 月 31 日現在)
役 員	理事	20 名
	監事	2 名
評議員		46 名
各種委員会委員	総務委員	8 名
	財務委員	6 名
	診療委員	8 名
	倫理利益相反委員	4 名 (内、外部委員 1 名)
	学術広報委員	9 名
	学会登録医療機関認定委員	13 名
	学会賞等選考委員	7 名 (2018 年 9 月発足)
	ガイドライン統括委員	4 名 (2022 年 9 月発足)
	HTLV-1 に関する普及啓発事業運営委員会	20 名 (2023 年 11 月発足)
	学会経営基盤検討委員会	18 名 (2023 年 11 月発足)

会 議

1. 理事会

第 1 回理事会 (メール会議)

日 時 : 2023 年 10 月 18 日

議 題 : 理事の改選および評議員候補の推薦について

第 2 回理事会

日 時 : 2023 年 11 月 10 日 (金) 14 時 30 分～15 時 30 分

場 所 : 京都テルサ 2F 第 9 会議室 (京都府京都市南区東九条下殿田町 70)

議 題 : 収支決算書、事業計画書、収支予算書等

第 3 回理事会

日 時 : 2023 年 11 月 11 日 (土) 12 時 5 分～12 時 15 分

場 所 : 京都テルサ

議 題 : 理事長および副理事長選任の件

臨時理事会（メール会議）

- ・2023年9月22日 2023年度YIAおよび宇都宮賞候補者について
- ・2023年10月20日 HTLV-1に関する普及啓発事業運営委員会規則案と委員候補について
- ・2023年11月24日 学会経営基盤安定化のための常設委員会設置について
- ・2023年12月26日 新規学会登録医療機関の承認について（愛知がんセンター）
- ・2024年5月18日 学会登録医療機関認定委員会委員の選任について
- ・2024年7月25日 ウィルス学会・ウィルス命名作業部会からHTLV-1 ウィルス種の英名/和名についてコメント依頼
- ・2024年7月26日 第10回日本HTLV-1学会学術集会に関するMDPIの協賛について

2. 定時社員総会

日 時：2023年11月11日（土）11時25分～12時05分

場 所：京都テルサ

議 題：収支決算書、事業計画書、収支予算書、理事の選任等

3. 診療委員会・財務委員会・学術広報委員会・倫理利益相反委員会・学会登録医療機関認定委員会・学会賞等選考委員会・ガイドライン統括委員会

日 時：2023年9月～11月メール会議・Web会議

総務委員会

日 時：2023年11月10日（金）13時30分～14時

場 所：京都テルサ2階第9会議室

事業報告

第9回日本HTLV-1学会学術集会

テーマ：～京都から世界～

日 時：2023年11月10日（金）～11月12日（日）

場 所：京都テルサ（京都府京都市南区東九条下殿田町70）

会 長：高折晃史（京都大学大学院医学研究科 内科学講座 血液・腫瘍内科学 教授）

参加者数：299名

口演発表：28件

ポスター発表：51件

招待講演：1件

会長講演：1件

学術シンポジウム：11件

コーポレートセミナー：5件

招待講演

Progress towards elimination of HTLV-1 infection and associated diseases

Graham P Taylor (Imperial College of London)

会長講演

ATL/HTLV-1 研究における京都からの発信
高折晃史（京都大学）

学術シンポジウム 1 「ATL－分子病態から治療まで」

- 1) ATL の分子病態と治療薬開発
山岸 誠（東京大学）
- 2) 皮膚病変主体の ATL に対する治療 (indolent ATL および全身療法後の皮膚再発について)
米倉健太郎（今村総合病院）
- 3) 治療抵抗性 ATL に対する同種造血幹細胞移植最適化～当院での経験を中心に～
藤 重夫（大阪国際がんセンター）
- 4) 新規薬剤が問う再発・難治 ATL 治療の新時代
進藤岳郎（広島大学）

学術シンポジウム 2 「HTLV-1 と慢性炎症」

- 1) HAM の病態と臨床まで
山野嘉久（聖マリアンナ医科大学）
- 2) HTLV-1 関連眼疾患の治療戦略
鴨居功樹（東京医科歯科大学）
- 3) 膜原病リウマチ性疾患と HTLV-1 感染症
梅北邦彦（宮崎大学）

表 彰

若手研究者奨励賞 (Young Investigator Award, YIA) 副賞各 5 万円
清水 拓也（京都大学大学院医学研究科 血液腫瘍内科学講座）
「YY1/EZH2/MLH1 は ATL の病勢進行のバイオマーカーかつ治療標的となる。」
鷹尾 直誠（聖マリアンナ医科大学 脳神経内科）
「HTLV-1 関連脊髄症に対する MEK 阻害剤の有用性に関する非臨床データ」
山田 麻美（熊本大学病院 血液・膜原病・感染症内科学）
「HTLV-1 関連疾患発症リスク判定における Gag 免疫応答の意義」
森田 真梨（京都大学医学部附属病院 血液内科）
「ATL に対する非血縁骨髄移植後の再発は KIR3DL1 educated ドナーで抑制される」

宇都宮賞（優れた症例報告に対して） 副賞各 5 万円

古本 嵩文（長崎大学病院 血液内科）
「レナリドミドによる腫瘍フレア反応と治療奏効を認めた再発成人 T 細胞白血病
リンパ腫」
西谷 恒星（京都大学 皮膚科学）
「急性型 ATLL の病像を呈するも HTLV-1 感染細胞は oligoclonal で skin-directed therapy が著効した全身性紅皮症」

JSPFAD 検体登録貢献者への表彰（500 検体達成毎に表彰） 賞状とトロフィー

5000 検体達成記念表彰 宇都宮 與（今村総合病院）

2500 検体達成記念表彰 内丸 薫（東京大学）

500 検体達成記念表彰 伊藤薰樹（岩手医科大学）

ホームページの維持管理

- ・ 学術集会サイト
- ・ 日本 HTLV-1 学会登録医療機関
- ・ HTLV-1 関連ガイドライン
- ・ 世界 HTLV デー記念講演会、HTLV-1 対策研修会/公開講座（動画配信中）
- ・ e-Learning 「HTLV-1についてもっとよく知ろう」（動画配信中）
- ・ 新着論文紹介